大学発新産業創出拠点プロジェクト（START）シンポジウム
～日本型イノベーション・エコシステムの構築に向けて～

UTECの取組みとSTART事業の今後

2012年10月22日

株式会社東京大学エッジキャピタル(UTEC)
代表取締役社長　　郷治　友孝

The University of Tokyo Edge Capital Co., Ltd. All rights reserved.

UTEC
Co-Founders for Innovation

株式会社東京大学エッジキャピタル(UTEC)

- **2004年4月設立**

- **東京大学の承認する「技術移転関連事業者」として、研究成果や研究人材を活用するベンチャー企業等への投資を行うVCファンド(投資事業有限責任組合)を組成・運営**

- **ユーテック一号当時事業有限責任組合 (2004～)**
  83億円、22有限責任組合員
  34 投資先
  Exit例: IPO8社等

Morpho,Inc.
IPO in July 2011
TSE Mothers: 3653

tella
IPO in Mar 2009
JQ Standard: 2191

- **UTEC 2号投資事業有限責任組合 (2009～)**
  71億円、10有限責任組合員
  10投資先(2012年9月末現在)
  Exit例: Naked TechnologyのMixiによる買収

Naked Technology
Acquired in Sep 2011
by mixi

- **リード投資に注力。種(シード)/早期(アーリー)からExitまで中長期間取り組む投資。**

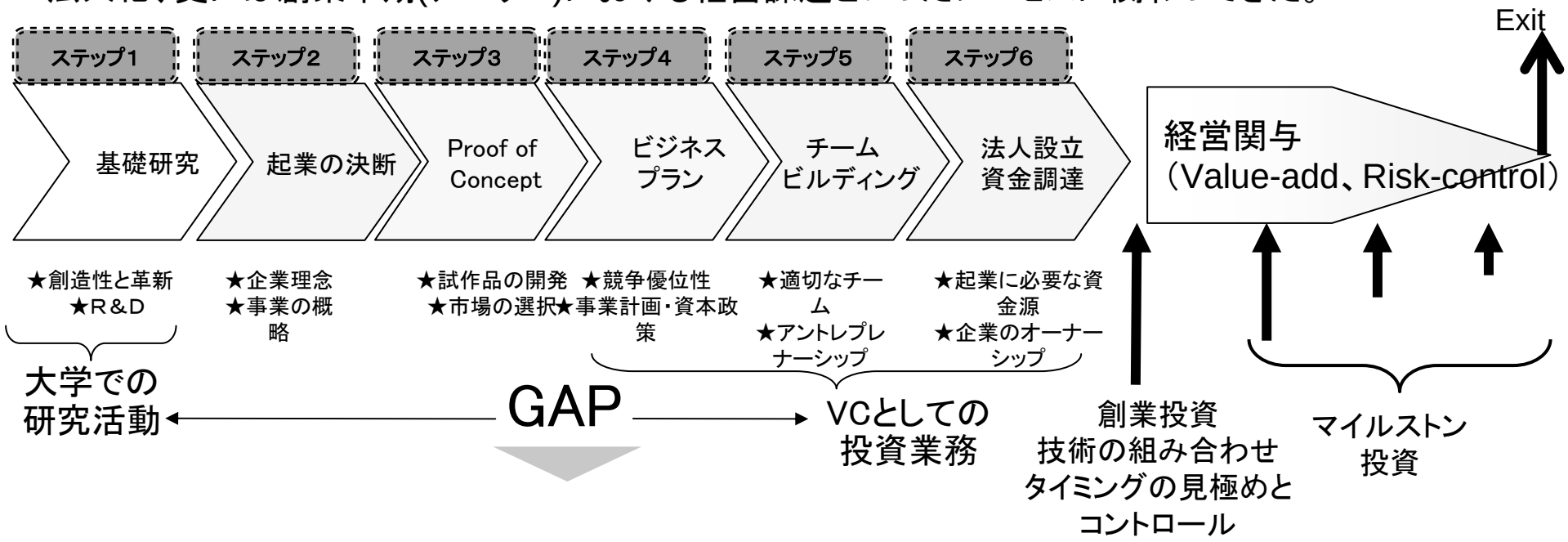
- **投資先の成長段階に応じた、投資家/金融機関/公的機関との資金調達の組成。**

The University of Tokyo Edge Capital Co., Ltd. All rights reserved.

シード/アーリー投資活動の特徴

UTEC
Co-Founders for Innovation

基礎研究の成果が、法人(ベンチャー企業)設立、事業開発、引いては投資としての成功に至るまでには、コンセプト、事業計画、実行体制を含め、様々なギャップがある。これまで東大等の研究開発シーズの事業化に取り組んできたUTECでは、投資・育成活動を通じて、上流の研究開発の成果(シード)から、法人化、更には創業早期(アーリー)における経営課題といったプロセスに関わってきた。



かかるギャップを埋めるためには、研究成果の事後的活動としてビジネスプラン策定やチームビルディングを行うだけではなく、より上流のProof of Concept、更には研究開発の計画自体についても、事業としての実現可能性を高めるための関与を行うことが重要。また、こういった活動を円滑に行うためには、自ら、研究開発を源流とするイノベーションエコシステム(生態系)の一員となることが有効。

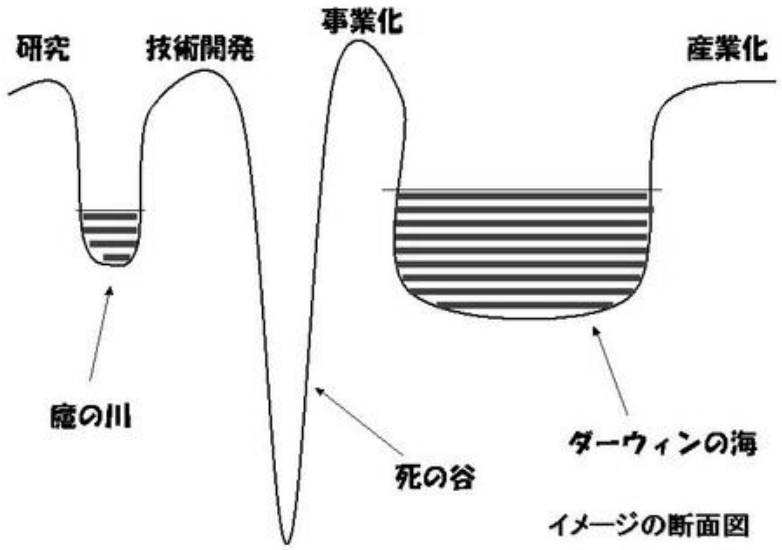
投資実行後は、起業家や研究者とともに高い経済価値を生み出す事業を共同で創るため、資金を出すことに加えて、積極的に経営に協力してリスクのコントロールや付加価値の付与を行う。自らも人的な資本として、IPOやM&AといったExitの実現に向けても貢献。

The University of Tokyo Edge Capital Co., Ltd. All rights reserved.

一寸先: 死の谷 (Death Valley)

UTEC
Co-Founders for Innovation

もともと「**死の谷**」とは、技術開発が資金調達の問題から実用化に至らない状態のみを指していた。
⇒次第に、資金以外も含めた様々な経営資源、経営スキル、知見の不足や、法律、制度等の外的要因なども含めて、基礎研究が応用研究に、または研究開発の結果が事業化に活かせない状態を指すようになっていった。



「死の谷」を細分化して、
「魔の川」: 基礎研究から応用研究までの間の難関・障壁
「デスバレー（死の谷）」: 応用研究から製品化までの間の難関・障壁
「ダーウィンの海」: 新事業として成功するまでの間の難関・障壁
と呼ぶこともある。

事業プロモーターの役割 ⇒ 技術評価(「目利き」)や資金提供だけではない。

The University of Tokyo Edge Capital Co., Ltd. All rights reserved.

ベンチャー企業の成功を妨げる様々なリスク

〇ファイナンスリスク
〇テクノロジーリスク
〇知財リスク
〇マーケットリスク
〇ビジネスリスク
〇規制・制度リスク
〇ピープルリスク
〇資本構成リスク
〇エグジットリスク
〇カントリーリスク
〇災害リスク
〇株価低迷リスク
等等、コントロールすべきリスクは枚挙にいとまなし。
事業育成の成功か否かを決めるのは、これらの諸要素のマネジメントの「足し算」ではなく、「掛け算」。

The University of Tokyo Edge Capital Co., Ltd. All rights reserved.

UTEC
Co-Founders for Innovation

ベンチャー企業の成功を支える生態系(エコシステム)

限られたリソースの制約を打破し、「死の谷」を超えられるようにするためには、ベンチャーの発展を支える生態系全体が機能する必要あり。

【生態系の例】

〇制度インフラ: 法制度、大学・教育制度、補助金、証券市場・・・
〇人脈: 血縁、地縁、同窓生、先輩・後輩関係、職縁・・・
〇世代間: 若年層、大学生・院生、若手社会人、ミドル層、シニア層・・・
〇国際性: 日本、米国、欧州、中国、韓国・・・
〇金融: VC、銀行、証券会社、銀行、篤志家(エンジェル) ・・・
〇専門職: 弁護士、会計士、税理士、司法書士、コンサル・・・
〇行政・規制: 文部科学省、経済産業省、厚生労働省、自治体・・・
〇提携・取引先: 他のベンチャー企業、大企業、大学、研究機関・・・
〇技術的知見: 企業研究者、学者・・・
〇事業の知見: 企業経験者、起業経験者・・・

ベンチャーの成功のために提供すべき「資本」は、金銭だけではない。

The University of Tokyo Edge Capital Co., Ltd. All rights reserved.

「明日に架ける橋」



明日へSTARTしたのはいいけれど、
あさってのことはどうする?

~~後のことは考えてません~~

今のうちから、START事業開始後に想定されるリスクをつぶすために、生態系全体の構成員ができる手を打っておく必要。

文部科学政策に関するご要望
⇒STARTをビジネスにつなげるためのファイナンスリスク低減策を今から
〇海外VCファンドで一般的な、<u>大学基金によるファンド出資解禁</u>のための措置

The University of Tokyo Edge Capital Co., Ltd. All rights reserved.